

2 おかあさんは、弟が言うことを聞かないで、

屋根におがつたり、ぼうをひりまわしたりするので

ア あがねてしかだがない。
イ ひじへしかりました。
エ ウ おかあさんはしかりました。
弟はおかあさんじしかられました。

七、次の原文の下に、同じいふか句への「うだんがけ」の言ふ方ができる場合があります。(例) にがひつて、
上の文の——の部分を書かなければなりません。

(例) 父が ぼくを よんだ。 ぼくは 父に よばれた

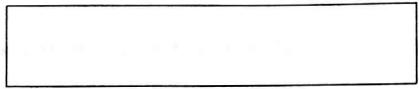
1 兄は ぼくに 本を 読めと
言つた。

ぼくは 兄に 本を
読めと



2 友だちは ぼくに もがねとい
注書した。

ぼくは 友だちから
もがねいと



八、次の文章を読んで、下の間に答えなさい。

① 日本は山が多いので、耕地は、国土全体の十分の二分の一しかない。だから、日本人は、このせまい耕地を、できるだけじょうづに使うくふうをしている。

② 作物ができる所なら、どんな高い所でも、どんな低い所ではじめ所でも、利用している。また、土地のせまいや時候にあつた作物を選んで、できるだけ収がく高を上げるようにしている。

③ たとえば、中部地方では、十六百メートルもの高い所に畑があるし、えひめ県では、三十度以上高い所で耕地をしている土地まで耕地にしている。また鹿児島県には、一年に四回もきゅうりを作れる所がある。

1 上の文章の中で、前にべたことを、やうじくわしく説明している段落は、なん番ですか。

2 まだ前にべたことを、実例をあげて説明している段落は、なん番ですか。

3 上の四つの段落の中から、筆者の意見がはいつているものや、一つだけひろつて、その番号を書かなければなりません。

4 上の文章では、次のどのいふもののべていますか。

一つ選んで、記号を○でかいみなさい。

ア 日本人は耕地をじょうづに使つてゐるが、このうえやら近代化して使うくふうがほしい。

イ 日本人は耕地をじょうづに使つて、収がく高をあげようとしているが、なかなかあがらない。